



杉谷ひろば

杉谷さんとともにまちを創る会
2013年10月 1日発行

10月号 向日市寺戸町辰巳4-1-101号
No. 32 杉谷ひろば(連絡先は頁下)

市民参加でまちを変えよう！ ホームページ：<http://sugi.pupu.jp/>

向日市議会 9月議会報告

市長は市民への説明責任を！ 来年度予算に市民の声を！



杉谷伸夫・58才
向日市議会議員・市民クラブ
上植野町イトピア在住

向日市議会の9月定例会が17日で閉会しました。議会で特に議論になったのは24年度決算と職員給与の引き下げ条例(2面参照)でした。

市民クラブは24年度決算に反対しました。

反対の理由の第1は、下水道石田川2号幹線工事と北野台雨水貯留槽工事で、市長が作った3億7千万円の大損害問題です。

石田川工事では、2億2千万円もの市民の損害を取り返せたかも知れない、重要な6本の弁護士報告書(公文書と認定された)のうち5本を勝手に「廃棄した」と言いながら、議員から「市長は自分を処分すべきではないか」と責任を問われても、何ら反省がありません。北野台雨水貯留槽工事の1億5千万円の損害を巡る裁判も、2年も経つのに議会に情報を知らせていません。市民に情報を伝えず説明責任を果たさない、自らも責任を取らない、こんな市政を了解しましたとは言えません。

反対理由の第2は、市民の願い=巡回バスがいつまでたっても走らないのは、市長の決断がないからです。市政の停滞を象徴するものです。心待ちにしている年配者を何年待たせるのですか。

この秋、来年度の予算(向日市が市民のために、どんな仕事や事業にお金を使うか)編成が本格化します。市民クラブとして、巡回バス事業などの市民の願いを予算要求書として市長に提出します。また予算原案を早期に公表して市民意見の募集を行うことを求めています。(9月26日・杉谷伸夫)

市民の皆さんの声

もつことで、避難所の運営に主体的に関われるんだと思う。この訓練は役に立つと思った。

●東京五輪で浮かれる前にやるべきこと

被災地の復興はまだまだこれからなのに、東京五輪招致で喜ばない。テレビで被災地の災害公営住宅の建設が2万4千戸の計画に対して、わずか数百戸しか建っていないと聞いて驚いた。東京五輪の建設需要で更に遅れるだろうと言う。五輪より先に、やるべきことをしっかりやってほしい。

●面白かった今年の防災訓練

4向小で行われた防災訓練で、体育館で避難所開設の訓練をした。医療班や食料班、情報班などを決め、避難所運営委員会を作る。自分の役割を

催しのお知らせ

★10月13日(日) 10時・向日市民会館
福島原発事故避難者のお話を聞く会
(参加無料)

★11月9日(土) 15時・向日市民会館
**「TPPって何？
私達の生活はどうなる？」講演会**
(参加無料)

連絡先

ご相談はまずお電話を！ TEL 090-8384-5984(携帯) FAX 075-921-4101
メール peace@fa2.so-net.ne.jp ホームページ <http://sugi.pupu.jp/>



9月議会のトピックス

- 職員給与の引下げを強行
- 「過労死防止基本法」求める意見書を可決

突然の提案

市長は6月議会で「他市がやっているからと、職員給与を引き下げようなどとはしない」と明言していました。ところが会期中で突然、引き下げ条例を提案し大きな議論となりました。

全議員が一致しているのは、「国が自治体職員の給与引き下げまで指図し、言うことを聞かせるために地方税を削減するようなやり方は言語道断であり、地方自治の破壊だ」ということ。私達市民クラブは、筋の通らない引き下げに反対しましたが、「やむを得ない」との多数意見で、10対9で可決されました。(引き下げは来年3

月までの期間限定。引下率 4.3%~10%)

議員報酬も引き下げに

では、議員の報酬はどうするのか？私たち市民クラブは、職員給与引き下げに反対でしたので、議員報酬も同じく引き下げるべきでないと主張していました。ところが職員給与引き下げは可決されそうなのに、議員報酬引き下げ条例は「全議員の意見一致が得られない」と提出が見送られる様子でした。私たち市民クラブは「職員だけ下げて議員は下げない」なんてあり得ないと考え、「職員給与引き下げ条例が可決成立した場合、議員報酬引き下げ条例を提案する」と主張した結果、議員20名中15名の賛同で提出されることとなり可決成立しました(引下率5%)。

市民クラブから2つの意見書案提出

以下の2つの意見書案を提出し、1つが可決されました。

- 「過労死防止基本法の制定を求める意見書」(15 : 4で可決。反対：天野・新矢・小野・永井)
- ×「TPP交渉からの即時脱退と情報公開を求める意見書」(8 : 11で否決)

シリーズ 原発事故⑨

子どもの甲状腺がんが異常多発の報告

福島県の県民健康管理検討調査委員会は、8月20日、18歳以下の甲状腺がん患者(強い疑いを含む)が43人と発表しました。子どもの甲状腺がんは、100万人に数人と言われる極めてまれな病気です。チェルノブイリ原発事故後に周辺地域で激増しましたが、原発事故で放出された放射性ヨウ素による被曝が原因だと判っています。

本来なら1面トップ記事で報道すべきニュースを、マスコミはほとんど報道していません。政府や福島県は、「原発事故による影響ではない」と言うのです。えっ？また情報隠しですか。

いわく「超音波検査機器の性能アップとスクリーニング検査(集団検査)により、本来なら大人になって発見されるがんを今発見しているだけだ。多数発見されても異常じゃない」と。

先日、医療問題研究会の小児科医のグループ

が、子どもの甲状腺がんが多発していたゴメリという都市で、チェルノブイリ原発事故の数ヶ月後に生まれた子どもに対するスクリーニング検査で甲状腺



がんはゼロだったという調査結果を基に、福島県や政府の主張(スクリーニング効果説)を否定する研究報告を出しました。

先日発刊された「福島原発事故・県民健康管理調査の闇」(岩波新書)には、福島県民が自分の被曝した放射線量をインターネットで簡単に推計できるシステムを、放射線医学総合研究所が開発し公開しようとしたところ、福島県などから「不安をあおる」として公開中止に追い込まれたことが書いてありました。また県民健康管理調査の目的が、県民の「安全の確認」から「不安の解消」に変更されたことも。

政府や福島県は「原発事故による放射能の健康影響は無い」ことにしたいんです。住民の「安全の確保」より、原発に対する「不安の解消」が大切なのです。懲りない人たちに騙され続けないようにしたいものです。

杉谷伸夫の 議会論戦

1 市内巡回バスを実現し、阪急路線バスの廃止・減便を止めよ

市内巡回バスについては、検討委員会で2年の歳月と1千万円の調査費用を使いながら、先延ばしの報告書が出ました。「この検討委員会は、市内巡回バスを走らせてほしいという市民の声を受けて発足したもの」であることを市長に何度も確認しましたが、市長は頑なに答えを拒否しました。

問題は市長の決断の無さに尽きます。そしてまた新たに「向日市公共交通会議」を設置すると言います。何も走らせないような会議ばかり設置してもらっては困るので、「勝手に進めず、議会にはかって条例で決めよ」と求めました。

また8月に発表された阪急の路線バスの一部廃止・減便の計画について、長岡京市、大山崎町と連携して、ぜひとも止めるよう求めました。

2 向日市の公共施設の更新・管理計画を立て、市民に報告せよ

向日市の公共施設が老朽化し、今後続々と更新時期を迎え、建て替えに莫大な費用が必要になっ

てきます。今後のまちづくりを左右する重要な課題であり、早く検討を進め、市民に報告することを求めました。

<答弁>

向日市の公共施設の更新の最初のピークは平成45年頃と見込む。費用については、水道施設が約160億円と想定するが、全体費用はまだ試算中だ。

本問題は、重要な問題と認識しており、現在検討を進めている内容がまとまって時点で、市民に積極的にお知らせしていきたいと考えている。

3 予算編成過程を公開し、市民意見の募集＝パブリックコメント実施を

市民の声が市政に反映されるかどうかは、予算にどう反映されるかです。来年度予算編成は、この秋から本格的にスタートするが、予算原案を公開し、市民意見の募集を行うよう求めました。

しかし担当部局からは、「これまでも、これからも市民のしっかり聞いていく」としか答弁がなく、私の提案に対する答弁をしませんでした。

4 前例のない生活保護制度の大改悪から市民を守ることに

8月1日から3年にわたって、生活保護基準を平均6.5%、最大10%の引き下げが始まりました。前例のない大幅引き下げに対し、生活困窮者の生活をいかに守るべきか、見解と対応を問いました。

「国において適切に判断すべきもの」との認識しか示しませんでした。が、「就労・自立支援事業」が、本人の意向を無視した強制的なものとならないよう十分な配慮を行うと答弁がありました。

報告

向日市の水は やっぱりおいしかった

市販のミネラル・ウォーターと水道水のどちらがおいしいか？9月の市民参加でまちをつくる会の例会が始まる前に、5人の方に冷やした両方の水を飲んでもらって意見を聞いた。結果は3人が水道水、1人が市販水、1人が「わからない」。市販水は味がしない、水道水はおいしい、という声。向日市の水は、やっぱりおいしいんだ！上下水道部に聞くと、水のおいしさの条件は、まず水温だとのこと。私は、水道水をボトルに入れて冷やして飲んでいる。衛生面でも安全だし、経済面でも助かる。（杉谷）

自然 散策

彼岸花 潔さに感服

暑かった夏が去り、少しずつ秋めいてきました。秋の始まりは、やはり彼岸花。死人花とか毒花とか言われ、忌み嫌われることがあります。けれども彼岸が近づくと、思わぬところで茎を伸ばし花を開きます。今年も田畑のあぜや小畑川の土手で、他の草の間から伸びて色鮮やかな花を咲かせ、彼岸が過ぎるとサッと姿を消す潔さに感服しています。（涸沢）





京都に初の 米軍基地を作るって？

京都で初の米軍基地が設置されようとしています。それは、京丹後市経ヶ岬の自衛隊分屯地近くにXバンドレーダーが配備され、軍人軍属計160人が配置されることになり、京丹後市長・京都府知事もそれぞれ9月議会で受け入れを表明した基地のことです。

この基地は、沖縄の基地負担軽減とは何の関係もなく、新設です。しかも議会にも通さず協議すらしていません。地元の説明会もほんの一部の地区しかされておらず、何がどうなっているのか京丹後市民すら知りません。説明会でも「賛成する」という地元の声は無く、ほとんどが不安を感じるという発言だったそうです。

地元だけの問題ではありません。また京丹後の自衛隊だけでなく、少なくとも福知山・桂・宇治・高島（滋賀県）の自衛隊も協働するアメリカのアジア戦略の一つという位置づけです。

9月20日には京都市内で「京都に米軍基地はいらない！緊急集会」が開かれました。向日市議会でも基



地設置に反対する意見書が9月議会に提出され、杉谷さんたちの市民クラブは賛成しましたが、否決されましたが、あきらめずにこれからも取り組んでいただきたいと思います。私達もこの問題を、自分たちの問題として考えていかなければと思います。（河原 よしみ）



「忍び寄る危険」

今年の夏は猛暑だったのでポケットと過ごしたが9月初めの堤未果さんの話で目がさめた。「貧困大国アメリカ」の3冊目出版にあたっての講演だった。

アメリカは国より企業が大きくなった悲劇である。ウォール街で1対99（1が豊かな人、99が貧しい人）であることに対してのデモがあったが、アメリカの後を追う日本もそれに近づくのではないか。

T P P参加、経済特区、全て規制緩和の新自由主義経済は、格差社会をますます作り出していく。ショック・ドクトリン（ショックな事件が起きた時、人々が思考停止している間に過激な政策を実行する手法）で、まさに東京オリンピック騒動の中で集团的自衛権が進められ、特定秘密保護法案が進められてはたまらない。

無知、無関心、無気力にならないで、目をしっかり見開いて生きていかなければと思う。

（安野 洋子）

シリーズ

「議会を変える！」⑨

長岡京市で本会議のインターネット動画配信が始まる

長岡京市では、この9月議会から本会議の模様を、ホームページからインターネットで生中継すると共に、録画配信をはじめました。

インターネット環境があれば、議会まで足を運ばなくても、本会議の模様を全て見ることができます。特に、録画の方はいつでも自分の都合の良いときに、見たいところだけ気軽に見れます。議会でどんな問題が取り上げられ、議会

がちちゃんと仕事をしているのか、自分が選んだ議員がどんな活躍をしているのか（いないのか）がよくわかります。また、議員の質問に対して市長や市の幹部が、都合の悪い問題を取り上げられた時には、いかに不誠実な答弁をしているかが市民の皆さんにはっきり伝わるので、抑止効果も期待できます。

実は4年前に、私が代表者として「インターネットを利用した向日市議会の生中継および録画配信の早急な実施を求める請願」を行い、採択されたのですが、未だにメドがたっておらず、長岡京市に先を越されてしまいました。全国的に見ても、811市中438市（53.8%）と過半数の市が実施済みです（全国市議会議長会の調査結果）。

議員になってこれから後半2年の間に、向日市議会でも必ず実現させたいと思います。